

2020年1月16日

「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」について

1 列車の編成

ディーゼル機関車（当社所有・2両）により、電源車（東急電鉄株式会社所有・1両）と「THE ROYAL EXPRESS」車両（伊豆急行株式会社所有・所定8両を5両に短縮）をけん引します。



▲列車編成イメージ ○ドーンデザイン研究所

2 事業スキーム

- ・東急株式会社（以下、東急）が事業主体となって観光列車事業を行い、当社は施設の提供及び列車運行を行います。
- ・主な役割分担
当社：運行、地元おもてなしへの協力、当社社員によるおもてなし
東急：企画・販売、車内外サービス調整・実施（地元おもてなし含む）、
「THE ROYAL EXPRESS」車両及び電源車の手配・改造・車両検修・清掃・車両回送

3 運行コース

- ・運行ルート：札幌→池田→釧路→知床斜里→北見→遠軽→旭川→札幌
- ・運行日数：3泊4日
- ・運行時期：2020年8～9月

※旅行プランの概要については、別紙『「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」の旅行プランが決定いたしました ～これまでにない世界に誇る旅舞台『さあ、煌めく旅にでかけよう』～』をご参照ください

【別紙】

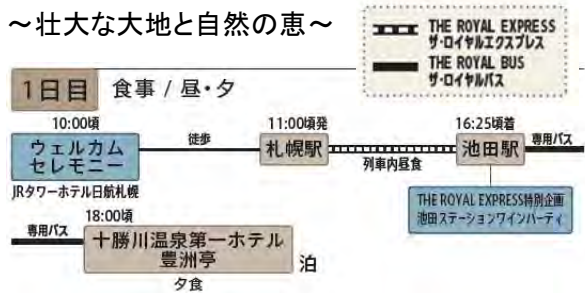
プランの詳細

1. プラン日程(3泊4日、計5回)

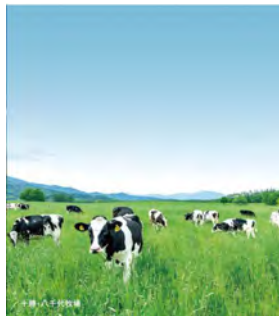
- ① 2020年8月14日(金)～17日(月) / ② 2020年8月21日(金)～24日(月)
- ③ 2020年8月28日(金)～31日(月) / ④ 2020年9月 4日(金)～ 7日(月)
- ⑤ 2020年9月15日(火)～18日(金)

2. 行程

～壮大な大地と自然の恵～

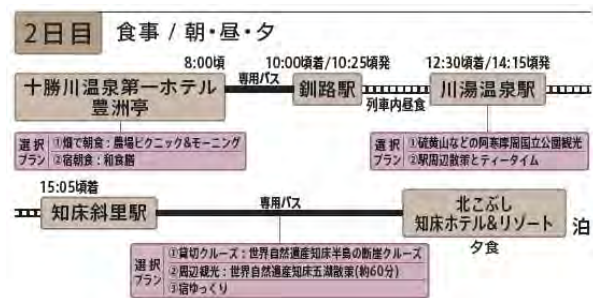


札幌を出発し、いよいよこれまでにない北海道の旅の始まり。昼食では、北海道でしか味わえない最高なネタを使ったお寿司をお楽しみいただけます。車窓からは次第に十勝平野の壮大な大地と自然を感じながら、ゆったりと流れる刻をお過ごしてください。池田駅に到着すると THE ROYAL EXPRESS 特別ワインパーティーで世界に誇る十勝ワインをお楽しみいただけます。



▲駅装飾イメージ©ドーンデザイン研究所

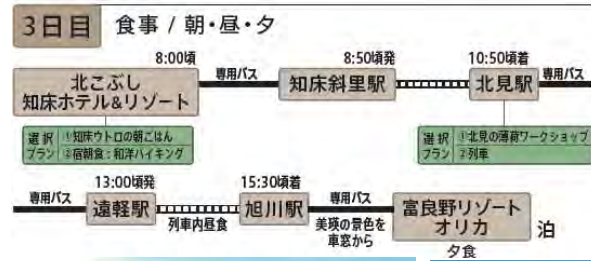
～刻を忘れるほどの絶景～



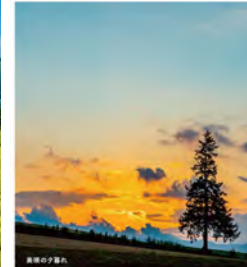
朝食には、農場で採れたての野菜をご用意しており、十勝でしか味わえない味わいをご堪能ください。その後、車窓からは世界に誇る大自然が織りなす釧路湿原をお楽しみいただき、阿寒摩周国立公園の大自然に触れ、その後世界自然遺産の知床へ。日本最北東端の秘境を THE ROYAL EXPRESS 貸切クルーズ船にてご案内します。



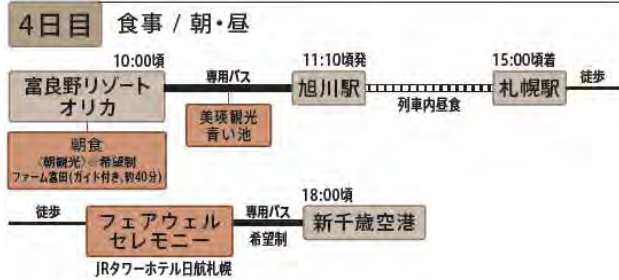
～世界に誇る車窓から～



美しいオホーツク海を眺めながら、海の幸の宝庫である知床でしか味わえない朝食をお楽しみいただいた後、オーシャンビューを眺めながら旅を進めます。北見では薄荷のワークショップ体験をお楽しみいただき、その後大雪山の山々では、森の碧さ、透き通るような川の流れ、雄大な山々など、我を忘れるような車窓の世界が広がります。下車後、バスにてパッチワークが鮮やかな美瑛の景色をご覧いただいたのち、最後の夜は音楽とともに過ごしてください。



～フィナーレ～



美しく輝く富良野の花畑、幻想的な青い池など色とりどりの自然が織りなす絵画のような景色を眺めながらTHE ROYAL EXPRESSは札幌へ。昼食は美瑛の新鮮な野菜を鮮やかに表現したイタリア料理をお楽しみいただけます。フェアウェルセレモニーではこれまでにない旅の思い出を分かち合いながら過ごしてください。



3. 宿泊先旅館およびホテルの概要

<1日目>

十勝川温泉第一ホテル豊洲亭



穏やかに流れる十勝川、悠々と連なる日高山脈に囲まれて、五感を満たす極上の時間をお過ごしください。お部屋は和と洋、それぞれの趣が調和したしつらえと、源泉掛け流しの展望露天風呂付。お部屋の大きな窓に切り取られた十勝川一帯の風景は、さながら一枚の絵画のようにお楽しみいただけます。

<2日目>

北こぶし知床ホテル&リゾート



息をのむ雄大な大自然、深紅に燃える夕陽、壮大な流氷原、そして手つかずの自然に暮らす野生動物たち。悠久の時に育まれたロケーションの中で、知床時間を存分にお楽しみください。テラスに備えた天然温泉露天風呂で、オホーツクの海を眺めながら涼み特別な時間をお過ごしください。

<3日目>

富良野リゾートオリカ



大きな空の下に見渡す限りの田園風景、悠々と連なる大雪山系。四季折々の「色彩の奇跡」と出会うことが「オリカ」が誇る最高の休日です。全室ドラマチックな風景をより全身で感じていただけるよう、十勝連峰を望む壁一面に広がる大型サイズの窓を採用。絵画のような景色とともにゆったりとお過ごしください。

4. 旅の舞台を彩る匠の皆さま

■料理人

<1日目:千歳市>林直司氏【北の華 はやし】店主 寿司



選りすぐった天然の魚介類を仕入れ、旬の素材を握りにあった出し方で提供される極上の江戸前の寿司とおもてなしは格別。北海道そして千歳まで足を運ばなければ食することができない大将の情熱がこもった握りをぜひ列車の中でお召し上がりください。

(2017年ミシュランガイド北海道にて二つ星を獲得)

<2日目:釧路市>渡部伸雄氏【日本料理 紀伸】店主 日本料理



北海道の自然が育んだ素材の持ち味を活かした料理方法で仕立てた、釧路でしか食べられない隠れ家的な名店。日本料理の本質を追求するからこそ無駄な手を加えず、美しい一皿で表現され、北海道食材と繊細で伝統的な日本料理のマリアージュをご堪能ください。

(2017年ミシュランガイド北海道にて一つ星獲得)

<3日目:北見市>梅田隆弘氏【割烹 うめ笹】店主 割烹



約30年余り地元で愛される日本料理を目指し、伝統的な日本料理に創意を加え季節に応じ懐石献立をしたて上げる。単に「料理」と呼ばれるのではなく「お料理」と言っていただけのような懐石に心がけ、地元の皆様が舌の肥えた客人を遠方から招待しても、満足のゆく味わいを常に目指しています。

(2017年ミシュランガイド北海道にて一つ星獲得)

<4日目:美瑛町>才田誠氏【Valore(パローレ)】シェフ 創作イタリア料理



美瑛町の雄大な景色、良質な素材の近さに感動し2007年にオープン。自然が織り成す色彩豊かなこの土地を、才田シェフ独自の世界感で表現するべく地元の生産者との関わりを大切に育みながら日々料理に向き合います。

(2017年ミシュランガイド北海道にて一つ星獲得)

■デザイナー 水戸岡鋭治氏【ドーンデザイン研究所主宰】



建築・鉄道車両・グラフィック・プロダクトなど、さまざまなジャンルのデザインを行っています。車両や関連施設のデザインは鉄道ファンの粋を超えて広く注目集め、ブルネル賞、ブルーリボン賞、日本鉄道賞、毎日デザイン賞、菊池寛賞などを受賞しています。「THE ROYAL EXPRESS」では、車両デザインのほか「THE ROYAL LOUNGE/CAFÉ」「THE ROYAL BUS」「THE ROYAL HOUSE」を手掛けます。

■音旅演出家 大迫淳英氏【ヴァイオリニスト】



「旅と音楽の融合」をテーマに、音旅演出家として THE ROYAL EXPRESS の旅の魅力プロデュース。THE ROYAL EXPRESS のテーマ曲を演奏するヴァイオリニストとして、列車の旅に感動をもたらし、記憶に残る華麗な旅を提供。北海道クルーズのテーマ曲「THE ROYAL EXPRESS～北海道の旅～」を新たに制作。北海道を力強く走る列車を躍動感のあるフレーズで、また広大な大地をエレガントなメロディーで表現しています。

5. 旅のみどころ

<1日目：池田ステーションワインパーティー>



THE ROYAL EXPRESS で最初に降り立つ地、池田町。寒冷な気候と地元の方々の情熱から生まれた十勝ワインは、世界からも評される日本を代表する国産ワイン。ぶどう畑が広がる池田町で、ノスタルジックなホームと THE ROYAL EXPRESS が織りなす特別なワインパーティーを地元のみなさまと一緒に楽しみください。

<2日目：農場ピクニック&モーニング>



どこまでも美しく広がる十勝の田園風景。隅々まで手入れの行き届いた農園は食の宝庫。農家の方々の想いを感じながら、普段は入ることのできない畑で、採れたての作物をお召し上がりいただきます。大地の恵みを五感で感じ、北海道ならではの“ごちそう”をお楽しみください。

<2日目：知床貸切クルーズ>



人の手が加えられずに、今もなお自然そのものの姿で維持されている世界自然遺産、知床半島。船でしか見ることのできない、自然が創り出したダイナミックな美しさを THE ROYAL EXPRESS 貸切クルーズ船にてご案内します。

野生動物たちが住む森に囲まれた神秘的な絶景、そして大いなる生命循環の自然が織りなす舞台が未知なる出会いに誘われるでしょう。

<3日目：知床ウトロの朝ごはん>



オホーツク海を眺めながら、3日目の朝はゆったりとしたひと時を。流氷が育んだ海の幸の宝庫、知床ウトロ港で水揚げされる新鮮な魚介類は、最高の朝ごはん。地元の方から愛される、知床ウトロの朝の味をご堪能ください。

<3日目：北見の薄荷ワークショップ>



明治35年頃から生産が始まった北見の薄荷は当時世界薄荷市場の約70%を占めた一大産地で、北の大地の発展と文化形成に大きな役割を果たしました。日本近代化産業遺産として北見の歴史・文化を今に伝えている「薄荷記念館」。希少な天然の和種薄荷が栽培されている北見で、薄荷を使った貴重なワークショップをぜひ楽しみください。

6. 販売時期・金額・および方法などについて(企画・販売:東急)

販売時期:①先行販売(THE ROYAL EXPRESS リピーター※1)

2020年2月10日(月)~2月16日(日)まで

②一般販売 2020年2月17日(月)~3月10日(火)まで

販売方法:ホームページ・郵送でのお申込み受付後、抽選での販売

旅行代金:お一人さまあたり68万円(税込) ※2名1室利用の基本料金の場合

募集人数:1回あたり30名(最少催行人員16名)

その他:詳細はオフィシャルホームページ(<https://www.the-royalexpress.jp>)にてご案内します。

問い合わせ窓口:ツアーデスク TEL:03-6455-0644

※営業時間/10:00~17:00

休業日/水曜日(1月15日は臨時営業します)・日曜日・祝日・年末年始

※1「THE ROYAL EXPRESS リピーター」は過去に THE ROYAL EXPRESS クルーズプランを2回以上ご参加いただいた方を対象とさせていただきます。

(参考)

■列車デザインについて



▲列車デザインイメージ©ドーンデザイン研究所

列車の動力となる機関車(JR 北海道所有)は「北海道の力強く明るく元気な太陽の色・収穫の色」として「橙・オレンジ」を、列車内サービス用電力を供給する電源車(東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)所有)は「『THE ROYAL EXPRESS』のロイヤルブルーとオレンジを粹につなぐ色」として「白・ホワイト」をメインカラーとし、北海道の自然豊かな緑の中を走る「THE ROYAL EXPRESS」のロイヤルブルーに橙、白が融合し、旅を楽しく美しく演出します。本列車の装飾は、「THE ROYAL EXPRESS」を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザインします。

■本プロジェクトについて

JR北海道と東急は、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、観光振興と地域活性化を目的として、2019年2月に観光列車の走行プロジェクトを両社および東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR東日本)、日本貨物鉄道株式会社(以下、JR貨物)の4社連携で立ち上げました(※)。

本年、観光列車「THE ROYAL EXPRESS」(伊豆急2100系)を使用し、道東エリアを中心とした観光資源を体感できるコースに運行させます。鉄道事業者が連携して、観光列車を訴求力のある旅行商品に仕立てることで、北海道の観光資源の魅力発信を行います。

※JR 東日本は電源車を東急電鉄に譲渡、JR貨物は北海道内で運行する車両を北海道まで回送運搬。

■伊豆エリアにおける「THE ROYAL EXPRESS」の運行について

8両編成・定員約100名の、定員数国内最大級の観光列車で、客車、食堂車、キッチンカー、コンサート・結婚式・展示会など様々な活用が可能なマルチカーで編成されています。水戸岡鋭治氏がデザインを手がけた車両は、車両ごとにデザインが異なり、先端技術から生まれる素材や工法に、伝統的な素材や職人の技を組み合わせ、上質な空間を創り出します。2019年5月には、列車と同じ水戸岡鋭治氏のデザイン・設計による THE ROYAL EXPRESS 専用バスを導入しており、これまで約10,000名弱のお客さまにご乗車いただき、そのうち約10%のお客さまに複数回ご利用いただいています。

